

第 66 回 愛知県河川整備計画流域委員会 議事要旨

<梅田川流域（第 4 回）>

日時：平成 30 年 9 月 6 日（火）

10 時 30 分～11 時 30 分

場所：愛知県産業労働センター12 階

中央会議室 1201

◇議題

梅田川流域（第 4 回）

- 前回委員会での意見と回答
- 住民アンケートの結果について
- 河川整備計画（原案）について
- 質疑

◇質疑

○水質について

【委員意見】

上流のほうの水質が悪いとあるが、なぜか。

【事務局回答】

上流に市街地があることと、畜産業等も行われているため、これらが影響していると考えている。

【委員回意見】

評価基準の設定について、水質汚濁防止施行令で BOD が C 類型だから 5mg/1 以下が基準値であると記載されているが、その 2 倍の 10mg/1 までは許容するという考えか。

【事務局回答】

評価基準について確認する。

【委員意見】

BOD の平均値は問題ないと考えているが、全窒素、全リンを含め時々高い値が出ているので、何かしら対策できるとよい。

【委員意見】

下流部の梅田橋で水質の定期検査をやっているが、測定時の天候等何か基準はあるのか。

【事務局回答】

どのようなときに測定しなければならないといった基準はない。

【委員意見】

排水基準に満たない未処理の排水を業者が流している事案があったが、県で把握しているか。

【事務局回答】

個別の状況について、県では把握していない。

【委員意見】

雨天時等流入負荷が大きくなると河川の水質が悪くなるという実態があるが、整備計画の水質の改善のところで具体的な対策を書けるとよい。

【事務局回答】

検討する。

○環境整備について

【委員意見】

梅田川クリーン作戦をはじめとし、県と市と住民とで連携して環境整備していけるとよいと思う。

【事務局回答】

保全に関する目標で関係機関、地域の人たちと連携しという形で記載がある。今後も連携して実施していきたい。

【委員意見】

半尻川をかなり掘削するものと読み取れるが、河川の保全のところで環境への配慮について明確に書いていただけるとよい。

【事務局回答】

出来る限り変更は少なくするのが基本ではあるが、やむを得ずこのような形になっている。環境に配慮した整備を行っていきたい。

【委員意見】

川との関係性を持つために掃除をするだけではネガティブな感じである。川をよくしていくポジティブな活動を河川改修と一緒にやっていけると、次のステップにつながっていくと思う。

【事務局回答】

蛍をきっかけに本来の川の自然、植物など関係性を持てるようになっていけると思う。

○他計画との整合性について

【委員意見】

浸水実績があるような区域については、市の立地適正化計画で居住誘導区域から除くことや開発を抑制していくことが必要ではないか。

【事務局回答】

市と連携して適切な土地利用を考えていきたい。

【委員意見】

土地利用の適切な誘導について、本文に書けるかどうか検討してほしい。

【事務局回答】

検討する。

○治水計画について

【委員意見】

今回の計画で改修区間として位置づけられていない区間についても、土地利用計画等と合わせながら対策を考えてほしい。

【事務局回答】

改修は基本的に下流から実施していくということ、また、本川を優先したため、上流の支川などにおいて今回改修を位置付けていない区間がある。出水状況等を見ながら必要なことを検討していきたい。

○整備計画本文について

【委員意見】

平成22年までの人口推移が載っているが、増加傾向であると書いていいものか確認してほしい。

【事務局回答】

確認する。

【委員意見】

過去に高潮の被害を受けていることから、防災情報の提供のところに潮位も書き入れてたらどうか。

【事務局回答】

そのように修正する。

○配電盤等のかさ上げについて

【委員意見】

湛水防除ポンプの配電盤等のかさ上げは、国の基準で1mとなっている。しかし、ハザードマップを見ると1mから2mの浸水の可能性があるところがあるので、適切な浸水対策をやっていただきたい。

【事務局回答】

浸水の可能性があるという事を周知して、連携してやっていきたいと考えている。

[了]